

第 1 回 防府市スポーツ推進計画策定委員会 議事録等

■開催日時・場所

令和 2 年 2 月 21 日（金）14 時 00 分～15 時 10 分
防府市役所 1 号館 3 階第 1 会議室

■次第

- 1 挨拶
- 2 委員自己紹介
- 3 委員長及び副委員長の選任
- 4 議題
 - （1）計画の策定方針と今後のスケジュールについて
 - （2）アンケート結果について
 - （3）スポーツ推進計画骨子案について
 - （4）その他

■配布資料

防府市スポーツ推進計画策定委員会	第 1 回 次第
防府市スポーツ推進計画策定委員会	設置要綱
防府市スポーツ推進計画策定委員会	委員名簿
防府市スポーツ推進計画策定委員会	資料【資料①～③】

■出席者名簿

	所属団体・役職	氏名	出欠
学識経験者	徳山大学 経済学部 准教授	瀬尾賢一郎	出席
スポーツ 団 体 関 係 者	防府市体育協会 副会長	城 宣生	出席
	防府市体育協会 常任理事	大和 孝義	出席
	防府市スポーツ推進委員連絡協議会 理事	相本 幸	出席
	防府市スポーツ少年団本部 指導者協議会会長	深光日出男	出席
	総合型スポーツクラブ防府 会長	坪郷 好夫	出席
学 校 教 育 関 係 者	防府市小学校体育連盟 理事長	村岡 修平	欠席
	防府市中学校体育連盟 理事長	阿部 直之	出席
そ の 他	防府市老人クラブ連合会 副会長	長尾 隆治	出席
	防府市障害福祉団体連合会 会長	中村 信也	出席
公 募 委 員		井上 務	出席
事 務 局	地域交流部文化・スポーツ課 課長	栗原 努	
	地域交流部文化・スポーツ課 係長	河野 仁志	
	地域交流部文化・スポーツ課 主事	津田 直輝	

■議事録

1 開会

(事務局より資料の確認と開会の宣言)

2 文化・スポーツ課長あいさつ

(栗原課長あいさつ)

3 委員自己紹介

(各委員による自己紹介)

4 事務局自己紹介

(事務局職員の自己紹介)

5 委員長及び副委員長の互選

策定委員会設置要綱第4条第1項により委員による互選。

委員より事務局一任の発言があり、事務局案として、瀬尾委員を委員長に、城委員を副委員長に推薦。全会一致で瀬尾委員長、城副委員長を承認。

6 委員長あいさつ

委員長	今回の防府市スポーツ推進計画の見直しというのは、東京 2020 オリンピックパラリンピックを間近に控える中で、それが終わった後に、どういう風に地域でスポーツの熱を補っていくのか、そういう意味でも今回の計画策定というのは、大事な部分を占めていると思う。これから向こう 5 年間防府市として、スポーツをどういう風に支えていくのか、そういう視点で忌憚のない御意見をいただきたい。
-----	--

(以後、委員長が議事進行)

委員長	防府市はこのような委員会を原則、公開としている。本委員会においても毎回、公開としたい。また、委員会の議事録については要旨をホームページで公表し、委員の名簿も公表することになる。了承をいただきたい。
-----	--

委員	全会一致で了承
----	---------

7 議事

委員長	次第４（１）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	次第４（１）について説明
委員長	計画の策定方針と今後のスケジュールについて説明があった。 何か意見等あるか。
A委員	５番目の策定体制のところで、障害の字が違っている。訂正を。
事務局	生涯→障害へ訂正します。
委員長	他にございませんでしょうか。 では、続いて次第４（２）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	次第４（２）について説明
委員長	アンケートの結果について説明があった。何か意見等あるか。
B委員	成人の調査対象に各年代の区分があるが、無作為に選ばれている１， ５００人のうちの各年代の対象件数というのは分かるか。
事務局	１，５００人の抽出方法については無作為であり、各年代それぞれの方 に何人に送付したか分からない。 ただアンケート項目に年代を聞いているので、回答の返ってきた数は 分かる。 もし、各年代の回答の返ってきた数を出した方がよいなど、そういった 意見があれば、反映させていく。
委員長	やはり調査結果については回答の返ってきた数も出していたほうが各 年代の結果も分かりやすく良いと思う。
A委員	アンケート調査の回収率が、４０．５％となっているが、他のアンケ ート等に比べて低いのか。前回の回収率はどのくらいか。

事務局	前回の回収率が41.4%に対して、今回は40.5%である。
C委員	別添資料にある結果比較の中で、「自分の体力についてどのように感じていますか」という問で「体力に自信がある」あるいは「どちらかと言えば体力に自信がある」と答えた人の割合が下がってきており、そして「体力に不安がある」と答えた人の割合が上がってきているという特徴をお示しいただいたが、市としてはどこに原因があると考えているか。
事務局	個人としての考えにはなるが、子育て世代や働き世代の方たちが運動できていないという印象を受けており、そういった運動実施率が低いという状況を踏まえて自分の体力に自信がないと答えた人の割合が上がったと考えます。
D委員	有効回答が596件とあるが、単純に平均すると各年代から80人くらいの方から回答が返ってきたという結果になると思うが、そのあたりの各年代のばらつきはどうか。
委員長	今の質問に関連で、例えば前回と今回の調査で回収できた年代に対する人数が変われば、調査結果についても変わってくる。もし可能であれば、年代別の比較も出来るよう変更をお願いできればと思う。
事務局	資料2の3ページのような形で、年代別に結果をお示しします。
A委員	障害者のアンケート結果の回収について、ごくわずかだと思うが、分かる範囲で知りたい。参考にしたい。
事務局	障害者の方へ個別のアンケートは実施しておりません。
委員長	そういった部分については、健常者のみならず障害のある方も含めて市のスポーツ推進計画に盛り込んでいく必要がある。スポーツというのは、健常者だけに与えられた権利ではなく、市としても障害のある方にとってスポーツを行う場というのを考えていく必要があり、それを支える人間も考えていく必要がある。そういう点からも、この計画の中に障害のある方々に対するスポーツの推進を盛り込んでいく必要がある。
事務局	計画の構成としては、そういった点も盛り込んでいくような形で考えている。

C委員	子どものアンケートの調査対象について、小学5年生と中学2年生を対象としている理由は何か。
事務局	前回7年前の計画の際も小学5年生と中学2年生を対象にしており、スポーツ庁の調査なども小学5年生・中学2年生を対象としているため。
委員長	他にございませんでしょうか。 では、続いて次第4（3）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	次第4（3）について説明
委員長	スポーツ推進計画骨子案について説明があった。何か意見等あるか。
E委員	（案）第5章で計画の数値目標とあるが、数値目標に対する結果はどこにあるか。
事務局	結果については、次回までに確認しておきます。
A委員	構成について新旧で変わってきている部分があると思うが、どういった理由があるのか。
事務局	大きく変わっているのが第2章と第4章の部分。 第2章については、より幅広い範囲で現状を捉えるという理由で変更しており、第4章については、県の計画に沿ったものになるよう変更している。
A委員	高齢者や障害者に関する内容が、どこかに入ってくるか。
事務局	先ほどの御意見も踏まえて、盛り込むつもり。 庁内策定委員会に福祉の者もいるので、項目として設けるのかというところも含めて、検討していく。
C委員	（案）第4章「1 生涯スポーツの推進」の部分で、生涯スポーツというのは、どういう風に捉えているか。

事務局	とくに年齢等の考えはなく、一生涯のスポーツとして捉えている。
委員長	他にございませんでしょうか。 では、続いて次第４（４）について、事務局から何かあるか。
事務局	本日の議事録と合わせて現在の計画も皆さんに郵送させていただく。
委員長	他に意見等なければ、本日の議事を終わらせていただきたい。 本日は第１回目の委員会ということで、事務局からスポーツ推進計画の策定に関する全般的な資料の提示と説明を受けた。今後の委員会では、さらに詳細な部分について検討していくことになる。引き続き活発な御意見をお願いしたい。
事務局	次回の委員会までに必要な資料や質問があれば、事務局まで連絡をいただきたい。

閉会